

全国の拠点が協力し、69万点収集

ジブラルタ生命保険が財団に寄贈

協賛会社のジブラルタ生命保険（ベルマーク番号 15）が全国約 700 拠店で 1 年間に集めたベルマーク 69 万点を 3 月 20 日、財団に寄贈しました。

財団が就任をお願いしたベルマーク大使で同社執行役員の松本哲さん、コーポレート・クオリティ推進チームの壽賀理麻さん、提携団体チームの石神陽子さん、ジェネラル・サービスチームの坂本龍哉さんが、ベルマークのに入った大きなダンボール箱を財団事務所に持ってきてくれました。

同社は保険証券に一律 100 点のベルマークを付けるだけでなく、マークの収集にも積極的に取り組んでいます。年に 1 回、全国の拠店でボランティア活動をする日

を定め、活動のひとつにベルマークの仕分けもあります。中には、年間を通して事務所の壁に協賛会社別のベルマークポケットを貼っている拠点もあるそうです。

集まった全てのマークを仕分けしたのはジェネラル・サービスチームの社員約 10 人。同チームでは障がいのある人が、自身の特性に合わせた業務に携わっています。今回初めてベルマークの仕分け・集計に取り組んだ坂本さんは、「集めたマークを財団に届けるまでの過程を知ることができ、貴重な経験になった」と話しました。

松本さんは「自分たちが PR することで、他の企業にも運動が広がれば、学校にプラスになる。広くベルマーク運動を知ってもらいたい」と話してくれました。



集めた69万点分のベルマークを前に、左から坂本龍哉さん、壽賀理麻さん、石神陽子さん、松本哲さん

各地で寄贈式開かれる〈キリンビバレッジ〉

長野・大町市立大町北小へ

協賛会社のキリンビバレッジ(ベルマーク番号 54)が、長野県との共同キャンペーンで集めたベルマーク 7 万 330 点を長野県大町市の市立大町北小学校(宮入勝彦校長、児童 254 人)に寄贈しました。

「ベルマークを集めて信州の魅力再発見!」と題し、キリンビバレッジ商品のベルマークを集めて応募すると、抽選でカタログギフトなどの長野にちなんだ賞品が当たるキャンペーンでした。信州のおいしい食材の魅力を上げると同時に、子どもたちの役にも立ちたいという趣旨に県が共感し、実現した企画です。

キャンペーンで集まったベルマークは県内の小学校に寄贈されることになっており、昨年ベルマークの累計点数が 200 万点の大台を達成した同校が、寄贈先に決定。同校の体育館で 3 月 1 日に贈呈式が開かれ、キリンビバレッジ東日

本統括本部関信越支社流通部の塚田明弘部長がボランティア委員会の児童 2 人に目録を手渡しました。塚田部長は「活動に熱心な大町北小に贈呈します。有効に活用してください」と伝えました。

宮入校長は「多くの方が応援してくれていることを改めて感じました。その気持ちに感謝し、かしこく、仲良く、たくましく学校生活を送りましょう」と同校の学校目標を交えてあいさつしました。



キリンビバレッジ東日本統括本部関信越支社流通部の塚田明弘部長(左)とボランティア委員の2人

北海道・安平町立早来中と札幌市立真駒内公園小へ

キリンビバレッジの商品を北海道内で販売している北海道キリンビバレッジ(佐藤栄二社長)が、グループ企業などに呼びかけて集めたベルマークを北海道安平町の町立早来中学校(山田誠一校長、生徒 116 人)と札幌市立真駒内公園小学校(関根治彦校長、児童 310 人)に贈りました。

2018 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震。北海道キリンビバレッジは震災後、ベルマークを通じた復興支援に取り組み、毎年早来中にマークを寄贈しています。

同校で 10 月 25 日に贈呈式があり、山田校長にベルマーク 1 万 8918 点分の目録を手渡しました。「毎年寄贈していただき、ありがたく思っています」と平野拓央教頭は話してくれました。

真駒内公園小では 12 月 20 日に贈呈式が開かれました。2540 点のマークを集めたのはトランスコスモス株式会社

(石見浩一、牟田正明共同社長)の社員と市立札幌みなみの杜高等支援学校(田中進一校長、生徒 161 人)の生徒です。校内・校内にキリンビバレッジの自動販売機を置いている縁で、一緒に社会貢献活動をしようと 1 年間収集に取り組みました。「集めてくださった社員や生徒の皆さんに感謝しています」と関根校長は話しました。



左から北海道キリンビバレッジサービス企画総務部兼営業部の尾田紳弥部長、早来中の山田誠一校長、北海道キリンビバレッジの渡辺昌彦営業担当

ジメジメとした梅雨の時期も快適に

協力会社の東通産業、ライブ、エルモ(テクノホライゾン)

4 月になり、新学期が始まりました。今年は桜の開花が早く、そろそろ葉桜になってきた地域も多いかもしれません。入学・進級で何かと慌ただしい春が過ぎると、早いところでは 5 月末から梅雨がやってきます。梅雨の時期に備えて、ベルマーク預金を使ったお買いものをしませんか。今回おすすめの商品を選んでくれたのは東通産業、ライブ、エルモ(テクノホライゾン)の 3 社です。

◇

東通産業が選んだのは、広い空間での使用にぴったりな大型の除湿器と空気清浄機です。「**大型除湿器 IJCG-A50-B**」は最大で約 75 畳を除湿し、カビや結露を防ぎます。コンプレッサー式のため、パワフルさと省エネを両立。水タンクは 6L と大容量で排水の手間を軽減でき、湿度は 1% 刻みで設定可能、タイマーも搭載しています。価格は



171,000 円(税抜)です。

「**大型空気清浄機 IAP-A130HTH-W**」の特長は、約 30 分で約 60 畳の空気清浄をしながら、運転音は家庭用クーラー並みの静かさだということ。

花粉や PM2.5 だけでなく、0.3 μm の微細な粒子も 99.97% 以上除去することが可能。さらに、温湿度・ニオイ・汚れ・明るさを感知する 4 つのセンサーが空気の状態を「見える化」してくれます。価格は 88,800 円(税抜)です。

◇

ライブからの提案は、「**アンブラーオクト N**」。機能性と安全性に配慮したデザインの傘立てです。学校の昇降口などに置いて、子どもたち自身が傘を出し入れする傘立てには、しっかりと安定した設計が



求められます。この商品は、傘が回転したり傾いたりすることを防ぐため、内側が 8 角形状になっています。「YA-95L-ID 48 本立」は 42,700 円(税抜)、「YA-94L-ID 36 本立」は 35,400 円(税抜)。色はブルー、ピンク、グレーの 3 色から選べます。

◇

エルモ(テクノホライゾン)からは、雨が降っていても室内で作品制作やプログラミング学習ができる教材の提案が届きました。



教育機関向けの写真編集・作品制作ソフトウェア「**デジピークス**」は、写真の編集だけでなく、写真を活用した多彩な作品をつくることのできるほか、タ

ブレットでスライドを作成し、プレゼンテーションができる発表機能も搭載しています。多様な機能やフォーマットは、先生の資料作成や校務作業にも役立ちます。1 ライセンス 14,800 円(税抜)です。

プログラミングロボット「**Root**」は、ロボット掃除機「ルンバ」をモチーフに開発された教材です。プログラミングやロボットに触った経験がなくても、専用アプリを使って、走る・光る・描く・音を奏でることができます。専用アプリは、ブロックのイラストをつなげて簡単にプログラミングする Level1 から、本格的にテキストコーディングする Level3 までの 3 段階のレベルで構成されています。同じプログラムを異なるレベルに変換することができるため、子どもの習熟度に合わせて活用できます。価格は 27,090 円(税抜)です。

